

平成21年度 歳入・歳出の決算状況

Table with columns: 区分, 歳入決算額, 歳出決算額, 歳入・歳出差引額, 翌年度に繰越すべき財源, 実質収支額. Rows include 一般会計, 特別会計 (国民健康保険, 介護保険, etc.), and 企業会計 (水道事業, 工業用水道事業, etc.).

市は、平成21年度の決算収支の状況をとりまとめました。一般会計、特別会計および企業会計の決算の概要についてお知らせします。

健全化判断比率・資金不足比率も公表

決算まとめまる

平成21年度

平成21年度の各会計別歳入・歳出決算状況は左表のとおりです。歳入が1648億3773万円

《一般会計》

94万円円、差し引き10億479万円円の剰余になりました。た

7%減。歳入では、根幹である市税収

入が景気の急速な悪化により減額になりました。

一方、歳出では、バス事業や下水道事業会計への補助金の減

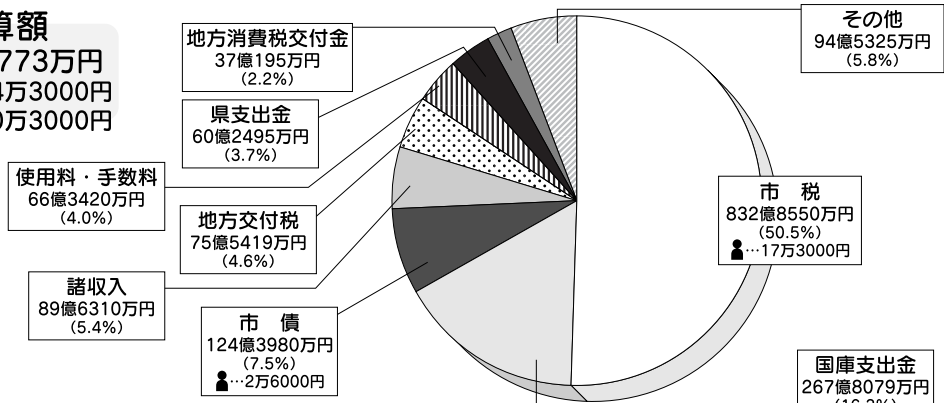
などにより土木費が減額になりました。

しかし、景気対策として国が

一般会計決算額の構成 市民1人あたり 1世帯あたり (平成22年4月1日現在の推計人口で算定)

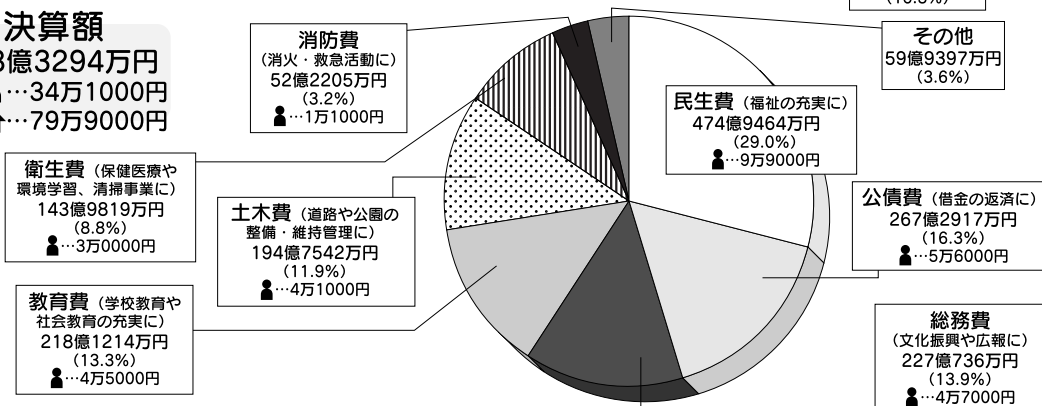
歳入決算額

1648億3773万円 市民1人あたり34万3000円 1世帯あたり80万3000円



歳出決算額

1638億3294万円 市民1人あたり34万1000円 1世帯あたり79万9000円



- 問合せ先 ◆一般会計・特別会計について 財政課 (0798・35・3414) ◆水道事業・工業用水道事業について 水道局財務グループ (0798・32・2211) ◆中央病院事業について 中央病院総務グループ (0798・64・1515) ◆下水道事業について 経営管理課 (0798・35・3652)

健全な財政運営で 行政需要増に対応

平成21年度は、保育所等の待機児童解消や小学校の児童急増

だし、22年度への繰越事業の財源として3億円を充当しているため、実質的には7億479万円の赤字です。

歳入では、根幹である市税収入が景気の急速な悪化により減額になりました。

一方、歳出では、バス事業や下水道事業会計への補助金の減

などにより土木費が減額になりました。

しかし、景気対策として国が

講じた定額給付金給付事業や地域活性化・公共投資臨時交付金

対策、学校の耐震化および中学3年生までの入院に係る医療費の一部助成など、市民生活に密着した施策や事業を実施しました。

また、景気の悪化に対する国の経済対策に対応して、定額給付金給付事業を実施したほか、地域活性化・経済危機対策臨時

交付金などを活用し、保育室の改修工事や公園施設の補修工事などを行いました。

なお、健全化判断比率は5面記事参照。西宮市は国の定める基準を超えていませんが、景気は依然として厳しい状況であり、市税収入の大幅な増が見込めず、また公債費も依然として高い水準にあります。

平成21年度決算における目的税の用途状況

市は、一定の政策目的を達成するために用途を限定した目的税（入湯税、事業所税、都市計画税）を徴収しています。平成21年度決算における目的税の用途状況については以下のとおりです。

問合せは税務管理グループ (0798・35・3200) へ。

◆入湯税 (収入額: 42,906千円)

環境衛生施設、消防施設等の整備、観光振興に要する費用に充てられます



◆事業所税 (収入額: 1,293,331千円)

教育、医療、社会福祉施設等の整備に要する費用に充てられます



◆都市計画税 (収入額: 7,216,123千円)

都市計画事業、土地区画整理事業等に要する費用に充てられます



《特別会計》 13ある特別会計の合計では、歳入が682億6980万円に対し歳出は672億9884万円、差し引き9億7096万円の黒字になりました。

《企業会計》 収益的収支については水道事業で3億8352万円、工業用水道事業で1億1895万円、下水道事業で6億6128万円の黒字になりましたが、中央病院事業については、6億122

万円赤字になりました(いずれも消費税および地方消費税を含む)。なお、水道事業、工業用水道事業および下水道事業の資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などで補てんしました。